

【基本情報】

クラブ名	松本山雅 FC		
活動テーマ	ホームゲーム運営		
実施場所	サンプロアルウィン		
活動部署	物販営業部		
	ボランティア団体「チームバモス」		
参加者	萩原 正太郎		
活動期間	2025 年7月5日(土)		

【活動報告詳細】

■活動目的

ホームゲーム運営を通してクラブがどのような活動をしているかを知る。
ホームゲームがどのような人に支えられて開催できているかを知る。
スタジアムに来るサポーターの表情や空気感を感じる。

■活動内容

キックオフ4時間半前のホームゲーム運営MTGから、試合終了1時間半後の終礼までボランティアの方とグッズ売店の設営、販売、撤収作業をする。
商品の陳列、販売時レジ係、商品撤収が主な作業。
ゲーム中はスタンドで試合観戦。

■選手コメント

萩原正太郎選手

たった半日の作業だったが、単純に疲れた。品出しをするにあたって、どこにどのように配置すれば、お客さんに見てもらえるかまで考えていることにおどろいた。どんな時も笑顔で接し対応することの大切さ、試合後にもう一仕事することが大変だった。この一連の仕事をお金をもらわずボランティアで働いてくれていることに本当に感動したし、感謝しかない。自分たちがストレスなく、ピッチでプレーできているのは、こういった方々のおかげなんだと改めて認識することが出来た。この感謝の気持ちを絶対忘れない。

■活動写真



【基本情報】

クラブ名	松本山雅 FC		
活動テーマ	ホームゲーム運営		
実施場所	サンプロアルウィン		
活動部署	物販営業部		
	ボランティア団体「チームバモス」		
参加者	松村 厳		
活動期間	2025 年7月12日(土)		

【活動報告詳細】

■活動目的

ホームゲーム運営を通してクラブがどのような活動をしているかを知る。
ホームゲームがどのような人に支えられて開催できているかを知る。
スタジアムに来るサポーターの表情や空気感を感じる。

■活動内容

キックオフ4時間半前のホームゲーム運営MTGから、試合終了1時間半後の終礼までボランティアの方とグッズ売店の設営、販売、撤収作業をする。
商品の陳列、販売時レジ係、商品撤収が主な作業。
ゲーム中はスタンドで試合観戦。

■選手コメント

松村 厳選手

新人研修でクラブのホームゲーム運営のグッズ販売を行った。クラブは、本当に沢山の方々に支えられていると実感した。

さらに自分は、退場の出場停止ということでより自分を見つめ直す機会となった。

そんな立場の中、沢山の方々が声をかけてくれて改めてこの人達のために戦い、勝たなければいけないと感じた。活動している中ですごく印象に残った言葉がある。勝った後と負けた後の疲労感が全く違う、山雅中心の生活をしているという言葉だ。僕達が人生を懸けてプレーしているように、山雅がサポーターの方々の人生の一部であると再認識した。この人達は、ボランティアとして山雅を支えて下さっていて、僕達はこの人達の思いも背負ってプレーしなければいけない。行動とプレーにより自覚と責任を持って生きていきたい。

■活動写真



【基本情報】

クラブ名	松本山雅 FC		
活動テーマ	ホームゲーム運営サポート		
実施場所	サンプロアルウィン		
活動部署	物販営業部		
	ボランティア団体「チームバモス」		
参加者	キムジュンヒョン		
活動期間	2025 年8月16日(土)		

【活動報告詳細】

■活動目的

ホームゲーム運営を通してクラブがどのような活動をしているかを知る。
ホームゲームがどのような人に支えられて開催できているかを知る。
スタジアムに来るサポーターの表情や空気感を感じる。

■活動内容

キックオフ4時間半前のホームゲーム運営MTGから、試合終了1時間半後の終礼までボランティアの方とグッズ売店の設営、販売、撤収作業をする。
商品の陳列、販売時レジ係、商品撤収が主な作業。
ゲーム中はスタンドで試合観戦。

■選手コメント

キムジュンヒョン

プレーする選手たちのために、見えないところで熱心にサポートしてくださっている「チームバモス」の皆さんに、心から感謝しています。今回、短い時間ではありましたが、その皆さんと一緒に 4～5 時間ほど作業させていただきました。

その時間の中で感じたのは、「チームバモス」の皆さんのクラブと選手たちへの熱い思いと、惜しみない努力のすごさです。私もその仕事のひとつであるグッズ販売を体験させていただきました。試合前には、長時間動き回りながらグッズをすべてセッティングし、来場されたサポーターの方々に笑顔でグッズを販売していく様子は、本当に多忙でありながらも、温かい雰囲気にあふれていました。

そして試合終了後、サポーターの皆さんがスタジアムを後にする際には、ゲートに立って一人ひとりにお辞儀をしながら見送るという姿にも、深く感動しました。「チームバモス」の皆さんは、最初から最後まで全力で活動されており、その姿を目の当たりにして驚きとともに、強い敬意を抱きました。

このように熱心に奉仕してくださる皆さんに、私が応えられるのは、やはりプレーで返すしかないと感じました。皆さんの応援や支えが無駄にならないよう、もっと努力し、スタジアムで勝利を届けることで恩返ししたいと思います。

トレーニングや試合の場だけでなく、日常生活の中でも、私たちのために多くの方々が支えてくださっている。そのことを改めて実感し、いつも全力で取り組まなければならないという気持ちがより強くなりました。

いつか必ず、「チームバモス」の皆さんを幸せにできるようなプレーを届けられるよう、これからの毎日を大切に過ごしていきます。

■活動写真



【基本情報】

クラブ名	松本山雅 FC		
活動テーマ	ホームゲーム運営サポート		
実施場所	サンプロアルウィン		
活動部署	物販営業部		
	ボランティア団体「チームバモス」		
参加者	渡邊乃斗		
活動期間	2025 年8月30日(土)		

【活動報告詳細】

■活動目的

ホームゲーム運営を通してクラブがどのような活動をしているかを知る。
ホームゲームがどのような人に支えられて開催できているかを知る。
スタジアムに来るサポーターの表情や空気感を感じる。

■活動内容

キックオフ4時間半前のホームゲーム運営MTGから、試合終了1時間半後の終礼までボランティアの方とグッズ売店の設営、販売、撤収作業をする。
商品の陳列、販売時レジ係、商品撤収が主な作業。
ゲーム中はスタンドで試合観戦。

■選手コメント

渡邊乃斗

今回は、主にグッズ販売を手伝わせてもらってグッズを並べるところからレジ打ち、そして試合が終わってからの回収作業までやらせてもらいました。まず試合運営をボランティアでやってくださる方がこんなにいることに驚きました。正直、こんなしんどいことをボランティアでは絶対やりたくないという気持ちで、最初は思っていました。でも、ボランティアの方とお話をさせてもらって、本当に松本山雅というチームが好きなんだなって思いました。そういう方が毎試合汗を流して必死に働いてチームのために活動しているのに自分はまだサッカーで何も返せていないと思いました。今回の新人研修で自分はいろんな方に支えてもらってサッカーができていたんだと強く思うことができました。これからのサッカーに対しての姿勢と気持ちをサッカーで恩返しができるようかえていきたい。

■活動写真



【基本情報】

クラブ名	松本山雅 FC		
活動テーマ			
実施場所	信州大学医学部附属小学校		
協働団体	信州大学附属小学校	明治安田生命	EPSON
	ALPICO GROUP	長野銀行	てまりバス etc
参加者	萩原正太郎	渡邊乃斗	松村 巖
	キムジュンヒョン		
活動期間	2025 年10月16日(木)～2025 年11月29日(土)		

【活動報告詳細】

■活動目的

世代間交流、教育

■活動内容

信州大学医学部附属小学校に選手が授業でいった。
生徒と一緒に松本山雅のホームゲームで販売するお弁当を考えた。
当日は参観日でもあり、保護者の方にも手伝ってもらい候補をいくつかあげた。

■選手コメント

萩原正太郎

信州大学医学部附属小学校とともにあった新人研修では、世代を超えて学ぶことと交流の価値を改めて実感する大切な機会になりました。小学生ならではの純粋な視点や発想に触れることができ、それにより柔軟な思考やコミュニケーション力を高めることができました。相手と同じ立場に合わせて話すこと、接することの大切さを学ぶことができました。また、自分たちが日々の練習や活動を通じてどのように地域社会へ貢献できるのかを再認識することができたと思います。地域の方との交流を行って、自分たちも活力をもらい、逆に地域の方、応援してくれる方にも活力を与えられる、そんな関係を目指していきたいです。今回の交流を通して学んだ気づきや小学生との絆を今後のチームでの取り組みや個人の取り組みに活かしていきたいです。

渡邊乃斗

小学生との交流について、まず小学生の元気に圧倒されました。何事にも素直に頑張る姿勢とかワクワク感とか伝わってきて逆に自分が刺激を受けました。日頃からあまり小学生とは接することがなかっただけに、とても新鮮

で面白かったです。これからもこういう交流はやっていきたいと思いました。次に地域密着のところで、山雅は特にサポーターが多いというもあり、ファンサービスなどでサポーターと接するところがありましたが、小学校との交流やスポンサーとの関わりが多いおかげで、一年目の自分が今後サッカーやっていく中で山雅にこれてよかったと思うところで、サッカーをやるうえで支えてくれている人がこんなにもいることを知れる機会になったし山雅は特にそれがわかると思う。支えてくれている人への感謝というのは絶対に忘れずにやっていきたいと思った。

松村 巖

新人研修として、信州大学医学部附属小学校の皆さんと交流する貴重な機会だった。小学生と一緒に弁当のメニューを考え、実際にスタジアムで販売するという取り組みを通じて、世代を越えた学びとつながりを実感した。子どもたちの自由な発想や純粋な意見は、大人になった僕にとって大きな刺激となり、地域の一員として活動する意味を改めて感じさせてもらった。教育と地域密着が交わった非常に有意義な研修となった。さらに今回の取り組みを通じて、地域の未来を担う子どもたちと共に一つのものを作り上げる喜びを感じることができた。スタジアムで自分たちが考えたお弁当がすぐに完売したと聞いた時は、大きな達成感と地域の皆さまとの絆を再確認できた。今後も松本山雅FCの一員として、地域に根ざした活動を続け、成長していきたい。

キム ジュンヒョン

新人研修で松本に小学校を訪問して学生たちと一緒に話を交わして弁当メニューを決める時間を持ちました。学生たちが私を迎えてくれて私の話を聞いてくれたことに対する感謝があって幸せな時間でした。学生たちがメニューを発表する時間がありましたが、皆手を挙げて先生が指名した学生が発表する時、発表できなかった学生たちが順番を待ちながらおとなしくしている姿を見て幼いが本当に成熟していると感じました。また学生たちが私をサッカー選手として尊敬してくれ、知りたいことなどを質問してくれた際も私の目を眺めて傾聴してくれることに対する姿勢も礼儀が本当に正しいと思ったし日本学校の教育が正しい方向に向かっていると感じました。学生たちとメニューが作れて良かったし地域で支えてくれているのを感じた。サッカーで恩返しができるように頑張ります。

■活動写真

【喫茶山雅】11/29(土)ギラヴァンツ北九州戦「乃斗とジュンヒョンのOne Soulビビンバ丼」販売のお知らせ

2025.11.25

クラブ

松本山雅FC



このたび喫茶山雅では、Jリーグ新人研修の一環として信州大学教育学部附属松本小学校の生徒の皆さんと共同開発した「乃斗とジュンヒョンのOne Soulビビンバ丼」を、11月29日（土）ギラヴァンツ北九州戦限定で販売することが決定しましたので、お知らせいたします。

【喫茶山雅】11/16(日)FC大阪戦「巖と正太郎のW肉盛り丼」販売のお知らせ

2025.11.13

クラブ



このたび喫茶山雅では、Jリーグ新人研修の一環として信州大学教育学部附属松本小学校の生徒の皆さんと共同開発した「巖と正太郎のW肉盛り丼」を、11月16日（日）FC大阪戦限定で販売することが決定しましたので、お知らせいたします。



© 2011 YAMAGA FC